

## セクション 1: 化学品及び会社情報

ラベルに使用される製品の識別子  
製品名

Gagekote #5 Part B

他の識別手段

なし。

化学品の推奨用途と使用上の制限  
推奨用途

エァ L シ樹脂 / ウレタン 樹脂

使用上の制限

上記以外のもの。

安全性データシート供給者の詳細  
供給者の詳細  
納入業者の住所

VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD  
Stroudley Road  
Basingstoke  
Hampshire  
RG24 8FW  
イギリス  
+44 (0) 1256 462131  
+44 (0) 1256 471441  
mm.uk@vishaypg.com

電話

F a x

E メール(担当者)

緊急電話番号

緊急連絡用電話の番号

(00-1) 703-527-3887

CHEMTREC (24 時間)

## セクション 2: 危険有害性の要約

危険有害性の概要

製品の取り扱い:

皮膚、眼および衣服との接触を避けること。 膚刺激性。 眼の刺激をもたらす。  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 アレルギー性接触皮膚炎。 皮膚が刺激  
された場合: 医師の診断/手当てを受けること。

GHS の分類

物理的な危険性

健康に対する有害性

分類されていない。

皮膚腐食性/刺激性, カテゴリー2; H315

皮膚。 感作性, オランダ 1; H317

目。 刺激性, カテゴリー2; H319

特定標的臓器への毒性 (単回暴露), オランダ 1; H370

特定標的臓器への毒性 (反復暴露), オランダ 1; H372

水生環境有害性, 慢性, オランダ 2; H411

環境に対する危険

GHS ラベル要素

危険性を表す絵文字



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H315: 膚刺激性。

H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

危険有害性情報  
安全対策

応急処置

保管

他の危険有害性

H319: 強い眼刺激。

H370: 臓器の障害。

H372: 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害。

H411: 長期継続的影響により水生生物に毒性。

P280: 保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。

P261: 蒸気の吸入を避ける。

P304+P312: 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、中毒センターまたは医師に連絡すること。

P302+P352: 皮膚に触れた場合: 水でよく手を洗うこと。

P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P308+P311: 暴露またはその懸念がある場合: 中毒センター、医師、または、...に連絡すること:

割り当てられていない。

知られていない。

### セクション 3: 組成/成分情報

物質 該当なし。

混合物

GHS の分類 JIS Z 7252: 2014

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	化審法 官報公示番号 <sup>^</sup>	危険有害性分類
Phenol, polymer with formaldehyde, glycidyl ether	<60	28064-14-4	7 - 1285	Skin Irrit. 2; H315 Skin Sens. 1; H317 Eye Irrit. 2; H319 Aquatic Chronic 2; H410
Poly[oxy(methyl-1,2-ethanediyl)], α-(2-oxiranylmethyl)-ω-(2-oxiranylmethoxy)-	30 - 35	26142-30-3	割り当てられていない。	Skin Irrit. 2; H315 Skin Sens. 1; H317 Eye Irrit. 2; H319
Talc	20 - 25	14807-96-6	割り当てられていない。	STOT SE 1; H370 STOT RE 1; H372

H/P フレーズのテキスト全部分については、セクション 16 を参照する。^化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律

当製品の分類に影響を与えるであろう他の成分または不純物はありません

### セクション 4: 応急処置



応急処置の説明

吸入

吸入した場合: 呼吸困難の場合は、被災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸し

皮膚接触	やすい姿勢で休息させる。呼吸が止まったり弱くなる症状が見えた場合は、人工呼吸を施す。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受ける。 皮膚（又は髪）に付着した場合：皮膚に接触した場合、直ちに全ての汚染された衣服を脱ぎ、十分な石鹸と水で洗浄してください。刺激（発赤、発疹、水疱）があらわれた場合、医師の手当てを受けること。
目の接触	目に入った場合：水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。まぶたを開いたまま少なくとも 15 分間洗眼液またはきれいな水で洗浄する。直ちに中毒センターまたは医師に連絡すること。
摂取	水で口をゆすいでください（飲み込んではいけません）。無理に吐かせない。病人が嘔吐した場合は、横に寝かせてください。意識のない人には、決して何も経口投与してはいけません。暴露またはその懸念がある場合：中毒センター、医師、または、に連絡すること。
最も重要な症状および作用（急性および遅発性）	膚刺激性。眼の刺激をもたらす。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。臓器への損傷を引き起こす摂取すると、長時間または反復曝露により、臓器に損傷を与えます。
医師の手当てと特別な処置が直ちに必要状態	症状によって処置する。

## セクション 5: 火災時の措置

消火剤	
適切な消火剤	周辺の火災に適切な。望ましくは、泡、炭酸ガス、または粉末消火器で消火する。
不適切な消火剤	ウォーター-ジェットを使用しない。直接水を噴射すると火災が広がる可能性があります。
当該物質または混合物に起因する特別な危険性	可燃性/引火性はありません。火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。燃焼生成物：一酸化炭素、二酸化炭素
消火作業者の特別な保護具と予防措置	消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水への混入を避けること。

## セクション 6: 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置	必要な個人用保護具を使用する。適切な保護具を着用すること。直接的な接触を避けること。作業員は被曝を最小限にするように訓練されていることを確認します。汚染された衣服は、再利用の前に洗濯しなければなりません。適切な換気を確保する。蒸気の吸入を避ける。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。蒸気の吸入を避ける。適切な換気を確保する。
大規模の流出:	その場所を避難し、作業員は風上に立つようにします。訓練を受け、適切に保護された作業員のみが、清窓業務を行わなければなりません。
環境的予防措置	環境に排出しないようにする。排水路、下水道または水路に入らないようにする。
封じ込めと清掃のための方法および資材	流出物を砂、土または適切な吸収剤で閉じこめる。漏出物は掃くかかき集めるかし、安全な場所に移します。廃棄またはリサイクル容器に移す。
小規模の流出:	適切な換気設備がある場合、小規模の流出物は蒸発させる。
大規模の流出:	訓練を受け、適切に保護された作業員のみが、清窓業務を行わなければなりません。

## セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

### 安全な取り扱いのための注意事項

作業員は被曝を最小限にするように訓練されていることを確認します。適切な換気を確保する。適切な保護具を着用すること。直接的な接触を避けること。蒸気の吸入を避ける。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。高い産業衛生水準を維持します。取扱い後は手を完全に洗うこと。汚染された衣服は徹底的に洗濯する。作業場所では飲食、喫煙を行ってはならない。直射日光を避けること。

### 安全な貯蔵のための条件（不適合条件を含む）

他の容器に移し替えてはならない。熱源および着火源から離れた、換気の良い（乾燥した）冷所/低温の場所に貯蔵すること。

### 保管温度

室温で保存してください。

### 混触危険物質

強酸化物類、酸類、と塩基。

## セクション 8: 暴露防止及び保護措置

### 職業暴露限度

確立されていない。

### 生物学的暴露指標

確立されていない。

### PNEC および DNEL

確立されていない。

### 適切な工学的管理

適切な換気を確保する。熱源および着火源から離れた、換気の良い（乾燥した）冷所/低温の場所に貯蔵すること。職業暴露限度の規定に基づいて、空中濃度を管理しなければならない。

### 個人用保護具（PPE）などの個人保護措置

高い産業衛生水準を維持します。適切な保護具を着用すること。直接的な接触を避けること。蒸気の吸入を避ける。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。暴露した場合：直ちに水で洗う。再使用する前に汚染された衣類を洗濯する。作業場所では飲食、喫煙を行ってはならない。

### 目/顔面の保護



液体の飛沫から保護するため保護めがねを着用すること。側板付き保護めがね（EN166）を着用すること。

### 皮膚の保護



#### 手の保護:

不浸透性手袋を着用すること。EN 374に準拠した480分以上の浸透時間に対応する、保護指数6。浸透の問題を避けるため、手袋は定期的に交換すること。手袋素材の浸透時間：手袋メーカーの情報を参照。適した材料：ブチルゴム、ニトリルゴム、ネオプレン。

#### 体の保護:

長靴、白衣、前掛けまたはつなぎ服を含む不浸透性の防護衣を適宜着用して、皮膚に接触しないようにしてください。

### 呼吸器の保護



換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。A型フィルターの付いた適切なマスク(EN141またはEN405)が適すると思われる。A型フィルターの付いた適切なマスク(EN141またはEN405)が適すると思われる。

### 特定の条件に起因する危険性に対する特別な注意事項

なし。

## セクション 9: 物理的および化学的性質

### 基本的な物理化学的特性についての情報

外観	チキソトロ<v>性の緑色ペ<X>ト
におい	軽微な。
臭いの閾値	確立されていない。
pH	確立されていない。
融点/凝固点	確立されていない。
初留点と沸騰範囲	確立されていない。
引火点	>150 °C [クロ-ズド カップ]
蒸発速度	確立されていない。
燃焼性 (固体、ガス)	確立されていない。
上限/下限可燃性または爆発限界	確立されていない。
蒸気圧	LT 1mm Hg
蒸気密度	該当なし。
相対密度	確立されていない。
溶解度	水に一部溶解。
分配係数: n-オクタノール/水	確立されていない。
自然発火温度	確立されていない。
分解温度	確立されていない。
粘度	チキソトロ<v>性の緑色ペ<X>ト

## セクション 10: 安定性および反応性

反応性	普通の状態安定。
化学的安定性	普通の状態安定。
危険な反応の可能性	普通の状態安定。有害な重合は起こりません。
避けるべき条件	熱。
混触危険物質	強酸化物類、酸類、と塩基。
危険有害性分解生成物	燃焼生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素

## セクション 11: 有害性情報

### 毒性に関する情報

急性毒性 - 摂取	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。
急性毒性 - 吸入	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 20.0 mg/l。
急性毒性 - 皮膚接触	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。
皮膚腐食性/刺激性	Skin Irrit. 2; 膚刺激性。
Phenol, polymer with formaldehyde, glycidyl ether:	データなし。
Poly[oxy(methyl-1,2-ethanediyl)], α-(2-oxiranylmethyl)-ω-(2-oxiranylmethoxy)-:	データなし。
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	Eye Irrit. 2; 眼の刺激をもたらす。
Phenol, polymer with formaldehyde, glycidyl ether:	データなし。
Poly[oxy(methyl-1,2-ethanediyl)], α-(2-oxiranylmethyl)-ω-(2-oxiranylmethoxy)-:	データなし。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	Skin Sens. 1; アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
Phenol, polymer with formaldehyde, glycidyl ether:	アレルギー性接触皮膚炎。(Pontén, A et al, 1999)
Poly[oxy(methyl-1,2-ethanediyl)], α-(2-oxiranylmethyl)-ω-(2-oxiranylmethoxy)-:	アレルギー性接触皮膚炎。(Haz-Map®)
生殖細胞変異原性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

改訂: 2.0 日付: 15 9 月 2016

以下に準拠 JIS Z 7253: 2012

www.vishaypg.com

発がん性  
 生殖毒性  
 特定標的臓器への毒性 (単回暴露)  
 特定標的臓器への毒性 (反復暴露)  
 吸引性呼吸器有害性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。  
 これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。  
 これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。  
 これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。  
 これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

### セクション 12: 環境影響情報

毒性

Aquatic Chronic 2; 長期継続的影響により水生生物に毒性。

推定 混合物。LC50 > 1 to ≤ 10 mg/l. (魚類)

Phenol, polymer with formaldehyde, glycidyl ether:

EC50 1.6 mg/l 48hr (ダフニア・マグナ) (Wyness LE et al, 1993)

残留性および分解性

混合物全体としてのデータはありません。

生物蓄積性

混合物全体としてのデータはありません。

土壌中の移動度

製品は土壌中で移動性が低いと予想される。水に一部溶解。

オヤ洵 w に対する有害な影響

知られていない。

その他の有害な作用

知られていない。

### セクション 13: 廃棄上の注意

廃棄物処理法

この材料とその容器を有害廃棄物として処分します法律に従い、前処理後にし  
 かるべき危険廃棄物焼却施設に送ること。内容物を国、都道府県、市町村の法  
 規に従って廃棄する。

### セクション 14: 輸送上の注意

	ADR/RID	IMDG	IATA/ICAO
国連番号	UN 3082	UN 3082	UN 3082
UN 適切な船積み名	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID (CONTAINS, Phenol, polymer with formaldehyde, glycidyl ether)	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID (CONTAINS, Phenol, polymer with formaldehyde, glycidyl ether)	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID (CONTAINS, Phenol, polymer with formaldehyde, glycidyl ether)
輸送危険分類	9	9	9
輸送危険分類	III	III	III
Marine pollutant	環境的に有害な物質.	海洋汚染物質に分類されている。	環境的に有害な物質.
使用者に対する特別な注意	次の項を参照: 2		
事項			
MARPOL 73/78 Annex II	該当なし。		
および IBC コードに準拠			
したバルク輸送			

### セクション 15: 適用法令

特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律

Industrial Safety and Health Act (ISHA)

通知対象物

該当なし。

表示対象物

該当なし。

毒物及び劇物取締法

該当なし。

化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律

該当なし。

化学物質排出把握管理促進法

該当なし。

化学物質安全性評価

該当なし。

## セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 1 – 16

### 参考文献:

以下の分類・表示インベントリ Phenol, polymer with formaldehyde, glycidyl ether (CAS 番号 28064-14-3), Poly[oxy(methyl-1,2-ethanediy)], α-(2-oxiranylmethyl)-ω-(2-oxiranylmethoxy)- (CAS 番号 26142-30-4) と Talc (CAS 番号 14807-96-6).

<https://hazmap.nlm.nih.gov/>

### 参考文献:

1. Pontén, A. and Bruze, M. (1999), Occupational allergic contact dermatitis from epoxy resins based on bisphenol F. Contact Dermatitis, 41: 235. doi:10.1111/j.1600-0536.1999.tb06149.x
2. Wyness LE, Cheeman H, Lad DD and Baldwin MK (1993), EPIKOTE 862: Acute toxicity to Oncorhynchus mykiss, Daphnia magna and Selenastrum capricornutum; SBGR.92.237

この安全データシートは、日本工業規格 JIS Z 7252:2014 及び JIS Z 7253:2012 に盾で作成した。

GHS 物質または混合物の分類	分類手順
Skin Irrit 2; H315	閾値計算
Eye Irrit 2; H319	閾値計算
Skin Sens. 1; H317	閾値計算
Aquatic Chronic 2; H411	積算

### 注釈

LTEL: 長期暴露限界

STEL: 短時間暴露限界

JSOH: 日本産業衛生学会

### 危険有害性分類 / 分類コード:

Skin Irrit. 2; 皮膚腐食性/刺激性, カテゴリー2

Skin Sens. 1; 皮膚。感作性, オランダ 1

Eye Irrit. 2; 目。刺激性, カテゴリー2

Aquatic Chronic 2; 水生環境有害性, 慢性, オランダ 2

### 危険有害性情報

H315: 膚刺激性。

H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

H319: 強い眼刺激。

H411: 長期継続的影響により水生生物に毒性。

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順に関わることや将来的な被爆の程度に影響を及ぼします。

### 免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切な措置をお取り願います。XXXX はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件（法的なあるいはそうでない）はございません。XXXX は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません（欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き）。特許、著作権および意匠のもと自由な使用権があるということではありません。